

NEWS RELEASE (2022年11月11日) 告知依頼

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター設立記念シンポジウム

「鉱山の鹿児島～近代化を鉱山から読み解く～」

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

「鹿児島の近現代」教育研究センターでは、令和4年11月23日(水・祝)、センターの設立を記念してシンポジウムを開催します。

第一部の講演では、鹿児島の地が鉱物資源に恵まれている理由、鹿児島市の谷山で300年以上稼働し多くの錫を産出した錫山鉱山の話を中心に、薩摩藩における鉱山の重要性、鉱山が近代化に与えた影響、鉱山技術の近代化やそれを担った技術者の話などから、今に残る鉱山遺構の保存・活用についてまで、2人の講師が詳しく解説します。第二部ではゲストを招いてのパネルディスカッションで話をさらに掘り下げます。

つきましては、下記の通り詳細をお知らせいたしますので、広く一般の皆様方への告知をお願いいたします。

記

【日時】令和4年11月23日(水・祝) 14:00～17:15(開場13:20)

【会場】鹿児島大学稲盛会館 キミ&ケサ メモリアルホール(定員100名)

【同時配信】Zoom ウェビナー(定員300名)

【対象者】中・高校生、一般市民

【内容】14:00～ 開会・主催者側挨拶

14:15～ 第一部 講演

「地球からの贈り物 火山の恵み」(鹿児島大学名誉教授大木公彦先生)

「鹿児島の近代化遺産『錫山鉱山遺構』」(鹿児島大学名誉教授志賀美英先生)

16:15～ 休憩

16:30～ 第二部 パネルディスカッション

《テーマ》鉱山開発が近代化に不可欠だった理由

◎パネリスト 大木 公彦 鹿児島大学名誉教授

志賀 美英 鹿児島大学名誉教授

松尾 千歳 尚古集成館館長

○司会 丹羽 謙治 「鹿児島の近現代」教育研究センター長

17:10～ 主催者側挨拶・閉会(17:15)

【申込み先】「鹿児島の近現代」教育研究センター(メール、FAX、WEBでお申し込みいただけます。)

Mail: kingendajim@gmail.com FAX: 099-285-7625

【締切日】令和4年11月20日(日)(11/16(水)から変更になりました)

※WEB申込み方法・お申込みの際の注意事項につきましては、以下のページをご参照ください。

<https://kadai-kingendai.jp/information/221102-02/> (別紙でQRコードをつけております)

※会場・ウェビナーとも事前申し込みが必要です。(参加費無料)

【問い合わせ先】

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター事務室 河野(こうの)

TEL: 099-285-7532 Mail: kingendajim@leh.kagoshima-u.ac.jp

別紙

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター設立記念シンポジウム

「釜山の鹿児島～近代化を釜山から読み解く」

※「鹿児島の近現代」教育研究センター、シンポジウムお知らせ記事のQRコード



※お申し込みフォームQRコード



以上